

2026

3

MARCH

Vol.97

Produce by  
Osaka Circular Resource Association

# Clean Life

クリーン  
ライフ



辰巳環境開発株式会社  
東大阪食品リサイクルセンター

## TOPICS

資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の全面施行について  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について  
ほか



公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

OSK

2026年度

# 廃棄物 管理士 講習会

## 環境省認定 講習会



本講習会は環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」に登録されています。

### 受講対象

産業廃棄物の処理を委託又は受託し、適正に管理していくために必要な法的知識を習得したいと考えている方等

### 開催期日

開催期日		受講日数	定員
2026年	7月24日(金)	1日	60名
	9月4日(金)	1日	60名
	10月30日(金)	1日	60名
	12月2日(水)	1日	60名
2027年	1月29日(金)	1日	60名
	3月16日(火)	1日	60名

### 受講料

17,600円(資料代/消費税込み)

### 開催場所

#### 国民會館 武藤記念ホール

〒540-0008  
大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館大阪城ビル12階  
TEL 06-6941-2433



○地下鉄天満橋駅3番出口から徒歩3分  
○京阪電車天満橋駅東出口から徒歩6分

詳細案内の時期については、  
5月上旬を予定しています。  
詳しくは本会ホームページをご覧ください。  
URL/<https://o-sanpai.or.jp>

実施機関

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-1-22(大江ビル3階)

後援

大阪府・大阪市

TEL 06-6943-4016

FAX 06-6942-5314

## CONTENTS

## トピックス

4

- 盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律（令和7年法律第75号・6月20日公布）
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う通知の一部改正について（令和7年6月16日環循規発第2506165号）
- 過去に製造販売されていた製品の一部に石綿の含有が確認された事案について（令和7年7月11日基安化発0711第1号）
- 産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法等の一部を改正する告示について（令和7年7月28日環循適発第2507281号・環循規発第2507282号）
- 物資の流通の効率化に関する法律の来年度施行に係る政省令の公布について（令和7年9月18日事務連絡）
- 大気汚染防止法施行規則等の一部を改正する省令等の施行について（令和7年9月24日環水大管発第2509241号）
- 価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組について（令和7年9月29日環自総発第2509291号・環循資発第2509291号・環循適発第2509291号）
- 令和9年度大阪基地設備更新工事に伴う基地受入停止について（令和7年10月大阪湾広域臨海環境整備センター業務課）
- エコアクション21ガイドライン追補版～エコアクション21アドバンスト～の公表について（令和7年10月17日環境省報道発表）
- 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の全面施行について（令和7年11月21日環循資発第2511215号）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について（令和7年12月22日環循規発第2512221号）
- 大阪湾フェニックスの3期事業（神戸沖埋立処分場）に向けた取組の方向性について（令和7年12月25日大阪湾広域臨海環境整備センター報道発表）
- 廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル（令和8年1月改定環境省環境再生・資源循環局）
- 資源循環分野における特定技能制度・育成就労制度による外国人材確保について（令和8年1月23日閣議決定・環境省）

## 事業報告

8

- 協会の活動
- 協会の会議
- 他団体会議等への出席

## クローズアップ

16

- ① 循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）等環境大臣表彰
- ② 環境衛生功労者の大阪府知事表彰
- ③ 公益社団法人大阪府産業資源循環協会精励従事者表彰
- ④ 近畿建設リサイクル表彰
- ⑤ 環境省「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する施行規則案」に関する意見の提出

## 廃棄物処理先進事例調査

22

- 第43回 株式会社リサイクルテック 太陽光パネルリサイクル(PVR)工場
- 第44回 兼松エンジニアリング株式会社 テクノベース

## 会員紹介 ● 辰巳環境開発株式会社

32

## メールマガジン「Clean Life オンライン」

37

## 新規入会会員紹介

40

## 事務局からのお知らせ

42

- 第14回定時総会開催について
- 協会ホームページにバナー広告を載せませんか
- 経営事項審査のための会員証明書発行について
- 建設廃棄物処理委託契約書は残りわずかです！
- OSK-sign（電子契約エントランスシステム）に加入しませんか？

## バックナンバーのご案内

44

- Clean Life
- 廃棄物法制等普及促進シリーズ
- よくわかるシリーズ

## 編集後記

48

表紙写真：辰巳環境開発株式会社 東大阪食品リサイクルセンター  
〒578-0921 大阪府東大阪市水走3丁目12番56号

## TOPICS

1

**盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律  
(令和7年法律第75号・6月20日公布)**

概要

太陽光発電施設からの金属ケーブル窃盗をはじめとする金属盗が増加していることを踏まえ、金属くず買受業に係る措置等を内容とした「金属盗対策法」が公布されました。なお、犯行用具の規制等については、令和7年9月1日に施行されています。



通知本文

2

**刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う通知の一部改正について  
(令和7年6月16日環循規発第2506165号)**

概要

「刑法」の改正により、これまでの「懲役」や「禁錮」が廃止され、新たに「拘禁刑」が創設されたことに伴い、「廃棄物処理法」の罰則や欠格要件に関する規定も改正され、また「行政処分の指針」をはじめとする関連通知も改正されました。



通知本文

3

**過去に製造販売されていた製品の一部に石綿の含有が確認された  
事案について  
(令和7年7月11日基安化発0711第1号)**

概要

過去に製造販売された製品の一部（耐火接着剤）にアスベストが含まれている事案が判明したことを受け、建築物等の解体や改修作業における事前調査等を経てアスベストの含有があった場合は、「石綿障害予防規則」等に基づく所要の措置を確実に講じる旨の周知依頼がなされました。



通知本文

4

**産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法等の一部を改正する  
告示について  
(令和7年7月28日環循適発第2507281号・環循規発第2507282号)**

概要

日本産業規格が一部統合再編されたことや近年の分析技術の向上を踏まえ、「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」（昭和48年2月17日環境庁告示第13号）その他関連告示の見直しがなされました。



通知本文

## TOPICS

5

## 物資の流通の効率化に関する法律の来年度施行に係る政省令の公布について (令和7年9月18日事務連絡)

概要

「物流効率化法」により、一定規模以上の荷主は令和8年4月1日から届出を通じ「特定荷主」として指定を受け、積載効率の向上、荷待ち時間や荷役時間の短縮に関する中長期的な計画の提出と報告及び物流統括管理者の選任を行う義務が課されます。この場合において、中間処理業者や最終処分業者は発荷主又は着荷主となることから、以上の内容について周知依頼がなされました。



通知本文

6

## 大気汚染防止法施行規則等の一部を改正する省令等の施行について (令和7年9月24日環水大管発第2509241号)

概要

廃棄物焼却炉も該当する「水銀排出施設」について、一定の要件を満たすもの（一般廃棄物の焼却施設）における排ガス中の水銀測定法として、連続測定による方法が認められることとなりました。



通知本文

7

## 価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組について (令和7年9月29日環自総発第2509291号・環循資発第2509291号・ 環循適発第2509291号)

概要

価格転嫁・取引適正化を推進するため、令和7年5月23日に「改正下請法」（取適法）と「改正下請振興法」（振興法）が公布され、令和8年1月1日に施行されることを踏まえ、その内容について早期に理解が深められるよう、周知依頼がなされました。



通知本文

8

## エコアクション21ガイドライン追補版 ～エコアクション21アドバンスト～の公表について (令和7年10月17日環境省報道発表)

概要

エコアクション21の取得企業からの声や国際的な潮流を踏まえ、現行（2017年版）の追補版として、GHGプロトコルに準じた「エコアクション21ガイドライン追補版～エコアクション21アドバンスト～」が新たに策定されました。



通知本文

## TOPICS

9

**令和9年度大阪基地設備更新工事に伴う基地受入停止について  
(令和7年10月大阪湾広域臨海環境整備センター業務課)**

概要

受入開始後33年が経過している大阪湾広域臨海環境整備センター大阪基地について、機械設備の老朽化等により不具合が多くなってきているため、その更新工事（廃棄物の受入停止）を実施し、その間、振替受入が行われます。



通知本文

10

**資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の  
全面施行について  
(令和7年11月21日環循資発第2511215号)**

概要

一部施行済みの「再資源化事業等高度化法」について、同施行令及び施行規則、告示等を整備し、全面施行されました。



通知本文

11

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する  
省令の施行について  
(令和7年12月22日環循規発第2512221号)**

概要

令和7年4月22日に「廃棄物処理法施行規則」が改正され、委託契約書に含まれるべき事項に「産業廃棄物に含まれる第1種指定化学物質の名称及び量又は割合」が追加されるとともに、電子マニフェストによる最終処分終了報告時における報告事項に「再資源化等の情報」が追加されました。前者は令和8年1月1日に、後者は令和9年4月1日に施行されます。また、これに伴い、「廃棄物情報の提供に関するガイドライン」も第3版に改定されています。



通知本文

## 12 大阪湾フェニックスの3期事業（神戸沖埋立処分場）に向けた取組の方向性について （令和7年12月25日大阪湾広域臨海環境整備センター報道発表）

概要

令和12年度に受入を終了する見込みであった2期神戸沖埋立処分場について、この間の工事費の高騰や圏域廃棄物量の減少等を踏まえ、令和13年度からの20年間においては、2期神戸沖埋立処分場の上部空間を活用して廃棄物を受け入れることとなりました。



通知本文

## 13 廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル （令和8年1月改定環境省環境再生・資源循環局）

概要

左記①にあるように、「廃棄物情報の提供に関するガイドライン」が第3版に改定され、また廃棄物データシート（WDS）の様式も大幅に改定されていることを受け、「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に収録されているWDSの様式も最新のものに差し替えられました。



通知本文

## 14 資源循環分野における特定技能制度・育成就労制度による外国人材確保について （令和8年1月23日閣議決定・環境省）

概要

令和8年1月23日の閣議決定により、外国人特定技能制度・育成就労制度（令和9年4月施行）において、資源循環分野（廃棄物処分量（中間処理））が新たな対象分野となりました。今後、令和9年の受入れ開始を目指し、準備が進められます。



通知本文

## 事業報告

## 協会の活動

## ●廃棄物処理先進事例調査（第44回～第47回）

第44回 令和7年7月4日（金）／兼松エンジニアリング(株)テクノベース生産技術センター

内容 温室効果ガス排出ゼロの完全EVのパッカー車の見学・調査

詳細は本紙29ページに掲載

第45回 令和7年11月17日（月）／(同)サファイアスカイエナジー

内容 廃食用油を原料とした国産SAF (Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料) の製造及び供給事業を行う同社にて、航空業界の脱炭素化及び国内廃食用油の国内循環に資する施設を見学・調査

第46回 令和7年11月28日（金）／加山興業(株)

内容 外国人労働者の受け入れ及び定着についての事例を調査

第47回 令和8年3月3日（火）／JFEプラリソース(株)

内容 容器包装プラスチックを原料としたNFボード・プランター・パレット・雨水貯留槽等の高度リサイクル化、製鉄所で使用される「高炉還元剤」「コークス炉化学原料」の製造、再利用を行う同社を見学・調査

## ●優良化認定推進研修会

廃棄物処理法令の動向およびエコアクション21認証登録制度を説明

令和7年7月7日（月）14時30分／協会会議室

参加者数 12名

## ●OSK-sign（電子契約エントランスシステム）導入説明会

## 【第16次】

令和7年7月8日（火）10時00分／オンライン

参加者 3名（2社）

## 【第17次】

令和8年2月10日（火）10時00分／オンライン

参加者 2名（1社）

## ●廃バッテリー再生施設の見学を通じた勉強会

令和7年7月17日（木）

見学先 (株)大阪鉛錫精錬所 佃工場及び西島工場

参加者数 10名

内容 佃工場（廃バッテリー回収、分離解体作業、鉛原料抽出）

西島工場（精錬工程、精製工程、鑄造工程、製品の出荷）

## ●施設見学会

令和7年8月22日（金）～23日（土）

見学場所：

（株）ダイカン三田事業所（三田市）

内容 最新の光学選別機を導入し、塩素系廃棄物の除去だけでなく、特定の物性の選別が可能な再資源化施設として、マテリアル・ケミカルリサイクル率の向上に取り組む施設を見学

（株）サーキュラーペット（津山市）

内容 ヴェオリア・ジャパン、三井物産、セブン&アイ・ホールディングスの3社合弁会社でリサイクルPET樹脂の生産および販売。使用済PETボトルを原料とし、新たな食品用PETボトルに再利用する「ボトルtoボトル」の普及に貢献する施設を見学

参加者 21名



（株）ダイカン三田事業所（三田市）



（株）サーキュラーペット（津山市）

## ●廃棄物処理法施行規則の改正に関する勉強会

委託契約書に含まれるべき事項へのPRTR対象物質の名称と量又は割合の追加及び経過措置と処分受託者の情報処理センターへの全処分を対象とした再資源化等の情報に係る報告の実務的対応と社内体制の整備について学ぶ

令和7年9月4日（木）15時00分／協会会議室

参加者 12名

## ●災害廃棄物処理に関する勉強会

能登半島地震における災害廃棄物処理・再資源化についてのレックスホールディングスの取組みについて学ぶ

令和7年9月10日（水）15時00分／協会会議室

参加者数 13名

## ●廃棄物管理士スキル向上セミナー

### 臨時版

- ①廃棄物処理法の基礎の整理と応用
  - ②廃棄物処理法令の動向（令和7年4月22日公布の改正施行規則について）
- 令和7年10月4日（土曜日）14時00分／テクスピア大阪 ミニホール  
参加者数 33名  
講師 専務理事兼事務局長 龍野浩一

### 通常版

- ①廃棄物処理法の基礎の整理と応用
  - ②廃棄物処理法令の動向（令和7年4月22日公布の改正施行規則について）
- 日時：令和7年12月11日（木曜日）13時30分／大阪産業創造館 5階研修室A・B  
参加者数 36名  
講師 専務理事兼事務局長 龍野浩一

## ●電子マニフェスト処分業者向け項目追加説明会

制度変更の背景と概要追加される項目についての説明、操作のデモンストレーションなどを実施  
令和7年10月20日（月）14時00分／大阪私学会館  
講師 （公財）日本産業廃棄物処理振興センターJWNET担当者  
参加者数 153名

## ●廃棄物不適正処理巡視

令和7年11月11日（火）／豊能・三島地域（箕面市・豊能町・高槻市・茨木市・島本町）  
内容 不法投棄等廃棄物の不適正処理未然防止と現況確認のための監視パトロール  
担当 収集運搬副部長 白坂悦一、同部員 原田幹之、専務理事兼事務局長 龍野浩一

## ●リスクアセスメント推進研修会

講義 「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント研修～会員企業の労災事故を減らす～」  
講師：AIG損害保険㈱ 大西康介氏  
演習 「産業廃棄物処理業を対象としたリスクアセスメント演習」  
講師：AIG損害保険㈱ 池永次郎氏、大西康介氏  
開催日時 令和7年12月4日（金） 14時30分／大江ビル13階  
参加者数 44名

## ●令和7年度第13回全産連青年部協議会全国大会近畿大会in大阪

全国産業資源循環連合会青年部協議会が活動推進や会員相互の交流を目的に式典ならびに特別講演を実施。特別公演では資源循環業界をモチーフとしたオリジナル台本による吉本新喜劇を上演  
令和8年1月30日（金）15時00分／グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）  
参加者 1,517名

## ●BCP策定啓発セミナー

令和8年2月19日（木）15時00分／大江ビル13階  
講義 「経営幹部に必要な法律の基礎知識～“知らなかった”は通用しません！～」  
講師 山田法律事務所 山田浩介弁護士  
参加者数 51名

## 協会の会議

### ●理事会

- 第66回 令和7年7月30日（水）15時00分／大江ビル13階第6会議室
- 令和7年度施設見学会実施に係る委託先選定の件
  - 天神祭ごみゼロ対策線2025協賛の件
  - 入会申込みの件 ほか
- 第67回 令和7年10月29日（水）15時00分／大江ビル13階第6会議室
- 再資源化事業等高度化法の全部施行に向けた同施行規則案に関する意見提出承認の件
  - 第13回全産連青年部協議会全国大会近畿大会に係る協賛等承認の件
  - 各種規程に係る一部変更等の件
  - 令和7年度上期業務執行報告 ほか
- 第68回 令和8年1月20日（火）15時00分／大江ビル13階第6会議室
- VISION2035プロジェクト承認の件
  - 令和8年度環境問題の啓発及び環境教育のための事業助成取扱要領並びに調査研究事業助成制度取扱要領の件
  - 令和7年度近畿建設リサイクル表彰式共催承認の件
  - 安全衛生表彰要綱一部変更の件
  - 公益社団法人全国産業資源循環連合会の地方功労者・地方優良事業所・優良従事者表彰推薦の件
  - 入会申込みの件
  - 次年度以降の公益社団法人全国産業資源循環連合会理事・委員について ほか

### ●組織広報委員会

- 第104回 令和7年8月7日（木）15時00分／協会会議室・オンライン
- 令和7年度なにわサンパイ塾開催について
  - Clean Life vol.97の会員取材の選考について
  - 正会員及び賛助会員の入会、賛助会員退会の件
- 第105回 令和7年10月3日（金）15時00分／協会会議室・オンライン
- なにわサンパイ塾開催について
  - 令和7年度精励従事者候補者の募集について
- 第106回 令和7年12月5日（金）15時00分／協会会議室・オンライン
- 令和7年12月度入会審査
  - 令和7年度精励従事者表彰受賞者の選考について
  - 令和8年度全国産業資源循環連合会表彰（地方功労者、地方優良事業所、優良従事者）の候補者選考について
  - なにわサンパイ塾開催について
  - 正会員退会の件
- 第107回 令和8年2月13日（金）16時00分／協会会議室・オンライン
- 令和8年2月度入会審査
  - Clean Life vol.97の発行について
  - 産業廃棄物収集運搬業における人手不足の実態を把握するためのアンケートについて
  - なにわサンパイ塾「人事労務サミット」について

## ●危機管理委員会

- 第77回 令和7年7月3日（木）15時00分／協会会議室
- 令和7年度開催の研修会について
  - 安全衛生表彰要綱の見直しについて
  - 先進事例調査事業について
- 第78回 令和7年9月2日（火）15時00分／協会会議室
- 令和7年度開催の研修会について
  - 令和7年度先進事例調査事業について
- 第79回 令和7年11月6日（木）15時00分／協会会議室
- 令和7年度開催の研修会について
  - 令和7年度先進事例調査事業について
  - 公益社団法人大阪府産業資源循環協会安全衛生表彰要綱について
- 第80回 令和7年12月17日（水）15時00分／協会会議室
- 令和7年度安全衛生活動の現状調査について
  - 令和7年度BCP策定啓発セミナーについて
  - リスクアセスメント推進研修会開催結果
- 第81回 令和8年2月4日（水）15時00分／協会会議室
- 労働災害防止計画について
  - 次年度事業計画について
  - 先進事例調査（加山興業株式会社）レポートについて
  - 令和7年度BCP策定啓発セミナーについて

## ●法政策調査委員会

- 第63回 令和7年7月10日（木）15時00分／協会会議室
- 廃棄物処理法の改正案について等
- 第64回 令和7年9月4日（木）15時00分／協会会議室
- 廃棄物処理法の改正案について
  - 廃棄物処理法令の動向（4月22日公布の改正施行規則）について
  - 改正3R法（廃棄物処理法の特例創設）について
- 第65回 令和7年10月14日（火）15時00分／協会会議室
- 再資源化事業等高度化法の全面施行（11月21日）に向けた施行令・施行規則・告示案に対するパブリックコメントについて
  - 廃棄物処理法の改正案について（建設特別部会との合同会議）
- 第66回 令和8年2月5日（木）15時00分／協会会議室
- 中央環境審議会循環型社会部会 廃棄物処理制度小委員会「今後の廃棄物処理制度のあり方について（意見具申）（案）」に対するパブリックコメントへの対応について
  - 本委員会、建設特別部会、（一社）大阪府解体工事業協会との意見交換会に向けた事前打ち合わせ（廃棄物処理法の改正案について）

## ●収集運搬部会

- 第87回 令和 9 月25日（木）14時30分／協会会議室
- 廃棄物処理先進事例調査レポートについて
  - 廃棄物不適正処理巡視について
  - 動画教材の作成について
- 第88回 令和 7 年10月23日（木）14時30分／協会会議室
- 動画教材の撮影について
  - 物資の流通の効率化に関する法律について
- 第89回 令和 8 年 1 月22日（木）14時30分／協会会議室
- 動画教材について
  - 令和 7 年度廃棄物収集作業向上研修会について
  - 廃棄物不適正処理について
- 第90回 令和 8 年 2 月25日（水）14時30分／協会会議室
- 令和 7 年度廃棄物収集作業向上研修会について

## ●再生処分部会

- 第45回 令和 7 年 9 月 3 日（水）16時00分／協会会議室
- 先進事例調査事業（株式会社リサイクルテック）について
  - 令和 7 年度再生処分部会事業計画について
- 第46回 令和 7 年12月18日（木）16時00分／協会会議室
- 先進事例調査先の選定について
  - サファイアスカイエナジー見学レポートについて

## ●建設特別部会

- 第23回 令和 7 年10月14日（火）15時30分／大江ビル13階第 3 会議室
- 廃棄物処理法の改正案について（法政策調査委員会との合同会議）

## ●青年部

- 第96回 令和 7 年 7 月16日（水）15時00分／協会会議室
- 施設見学会について
  - 廃棄物処理先進事例調査について
- 第97回 令和 7 年 8 月19日（火）15時30分／協会会議室
- 施設見学会について
  - 廃棄物処理先進事例調査について
- 第98回 令和 7 年 9 月24日（火）15時00分／協会会議室
- 廃棄物処理先進事例調査について
  - 第13回全国大会近畿大会in大阪 進捗状況について

## ●女性部

- 第 4 回 令和 7 年 9 月10日（水）15時00分／協会会議室
- 令和 7 年度女性部事業計画について
  - 災害廃棄物処理に関する研修

## 他団体会議等への出席

### 公益社団法人全国産業資源循環連合会

#### 近畿地域協議会

令和7年7月25日（金）15時00分／神戸ポートピアホテル 本館地下1F 会議場「生田」

- 令和6年度決算及び令和7年度予算について
- 令和7年度連合会表彰について
- 公益社団法人全国産業資源循環連合会の活動について ほか

令和8年2月25日（水）15時00分／スイスホテル南海大阪7F会議場「芙蓉A」

- 連合会役員及び委員の改選に係る推薦について
- 令和8年度連合会表彰に係る推薦について
- 公益社団法人全国産業資源循環連合会の活動について
- 第13回全国大会の結果について ほか

#### 全国正会員事務局責任者会議

令和8年2月3日（火）14時30分／オンライン

- 「令和8年度事業計画」骨子案について
- 令和8年度の安全衛生事業について
- 令和8年度の許可講習会事業について ほか

#### 全国正会員会長会議

令和8年2月13日（金）13時30分／徳島グランヴィリオホテル

- 令和8年度事業運営概要等について ほか

#### 高度資源循環・デジタル化推進協議会

第1回カーボンニュートラルWG・循環経済WG

令和7年8月19日（火）14時00分／オンライン

- GX推進法の改正及び排出権取引制度について
- 資源有効利用促進法の改正について ほか

第2回カーボンニュートラルWG・循環経済WG

令和8年2月17日（火）14時00分／オンライン

- 気候変動対策がもたらす資源循環分野への影響
- WBCSDのGCPという新しいCEに国際指標策定 ほか

#### 大阪府

#### 令和7年度第2回産業廃棄物不適正処理対策会議 (市町村連絡部会・取締対策部会・啓発部会)

令和7年9月24日（水）09時38分意見提出

- 令和7年度大阪府産業廃棄物不適正処理防止推進強化月間事業（11月期）について

#### フロン機器適正管理の推進のための情報交換会

令和7年11月7日（金）09時30分／大阪府咲洲庁舎37階会議室小

- 大阪府におけるフロン排出抑制法の周知及び立入の状況について
- 代替フロンによる気候変動への影響の低減に向けて

- フロン排出抑制法 5 年見直し状況
- 冷媒管理システム「RaMS」について
- 大阪府中小企業団体中央会連絡事項 ほか

### 「みんなで防止 !! 石綿飛散」推進会議

令和 7 年 11 月 25 日（火）14 時 00 分 / 大阪府咲洲庁舎 2 階咲洲ホール

- 推進会議の設置要綱について
- 行政機関における石綿飛散防止対策等の取組み等について
- 石綿飛散防止対策に係る周知の取組みについて ほか

### 近畿地方環境事務所

#### 令和 7 年度第 2 回大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会

令和 8 年 2 月 26 日（木）10 時 00 分 / AP 大阪茶屋町 F・G ルーム

- 災害廃棄物の処理に係る 2 府 4 県の自治体を対象とした調査等
- 近畿ブロック協議会・ワーキング等の運営支援
- 大規模災害時の大阪湾圏域等での連携協力等
- 人材育成事業
- 地域別出前講座の実施・運営に係る支援
- 能登半島地震災害廃棄物処理に係る現地視察
- 市町村災害廃棄物処理計画策定に係る支援
- 令和 8 年度近畿ブロック協議会における取組予定 ほか

# クローズアップ!

1

## 令和7年度循環型社会形成推進功労者 (産業廃棄物関係事業功労者)等 環境大臣表彰

産業廃棄物の収集運搬業若しくは処分業に従事し、産業廃棄物の適正処理の確保に顕著な功績のあった者又は産業廃棄物処理に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績があった者を環境大臣が表彰。



**福部 忠 氏** 公益社団法人大阪府産業資源循環協会  
理事兼危機管理委員長

# クローズアップ!

2

## 令和7年度環境衛生功労者の 大阪府知事表彰

多年にわたり環境衛生事業に尽力され、その功績が特に顕著であると認められる者、生活環境の改善に特に顕著な成果をあげている個人・団体を対象に大阪府知事が表彰。



小林一郎氏(左)と濱田篤介会長(右)

**小林 一郎 氏** 公益社団法人大阪府産業資源循環協会  
収集運搬副部長

# クローズアップ!

3

## 令和7年度精励従事者表彰受賞者のご紹介

本会では会員企業を対象に、産業廃棄物処理業に従事する方を表彰する「精励従事者表彰制度」を設けております。会員企業の推薦を受けた方を本会組織広報委員会において厳正に審査致しました結果、以下の方々の受賞が決定いたしました。皆様の今後の更なるご活躍を祈念いたします。

精励従事者表彰の対象（本会表彰規程より）

産業廃棄物処理業における現業、営業又は事務等に10年以上従事した満35歳以上の者のうち、本会が認定する廃棄物管理士の資格を付与されたもの

株式会社大林	上 田 和 哉 氏
株式会社小野商店	増 元 千 尋 氏
株式会社共英メソナ	高 本 賢 一 氏
株式会社ケーシーエス	秋 山 直 也 氏
合同衛生株式会社	武 田 慶 一 氏
株式会社興徳クリーナー	泉 元 幸 一 氏
株式会社ジェイ・ポート	中 畠 尚 史 氏
株式会社ジェイ・ポート	塩 見 諭 史 氏
株式会社ジェイ・ポート	竹 内 健 司 氏
株式会社ジオメイク	津 島 健 太 郎 氏
大栄環境株式会社	小 林 周 平 氏
大栄環境株式会社	太 田 勝 巳 氏
大栄環境株式会社	谷 郷 徹 氏
株式会社浜田	内 田 嘉 幸 氏
株式会社浜田	井 上 涼 太 氏
株式会社布施興業	北 埜 恵 史 氏

# クローズアップ!

4

## 近畿建設リサイクル表彰受賞事業所のご紹介

近畿地域において、建設リサイクルの推進を自主的、かつ積極的に取り組んでいる個人、団体、又は事業者に対し、建設副産物対策近畿地方連絡協議会がその活動を賞し、奨励することを通じ、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを充実させ、廃棄物などの循環資源が適正・有効に利用・処分される「循環型社会」の構築にむけた行動の輪を広げることが目的とする表彰する制度です。令和6年度の選考で本会会員がご受賞されましたことをご紹介します。誠におめでとうございます。

受賞者 **株式会社総環**

受賞の種類 **再資源化部門 奨励賞**

活動内容 **自己完結型ワンストップリサイクル！**

～がれき類の破碎処理から混合廃棄物の熱回収まで～



株式会社総環（受賞）の取締役福田英克氏

# クローズアップ!

5

## 資源循環技術・システム表彰受賞事業所のご紹介

一般社団法人産業環境管理協会が経済産業省の後援を受けて、資源利用・廃棄物の発生抑制、使用済み物品の再使用、再生資源の有効利用に寄与し、先進的で高度な資源循環技術、社会システム、又は製品開発の特長を有する優れた事業や取組みの奨励・普及を図るとともに、資源循環の更なる普及および循環型経済への移行促進を図ることを目的として、これらを広く公募・発掘し、表彰する制度です。令和7年度の表彰で本会会員がご受賞されましたことをご紹介します。

受賞者 **株式会社浜田**

表彰の種類 **経済産業省脱炭素成長型経済 構造移行推進審議官賞**

活動内容 **太陽光パネルの処理後ガラス高度リサイクルによる  
持続可能な社会への実現に向けた新技術**



受賞された株浜田の代表取締役 濱田篤介氏(左)

# クローズアップ

6

## 環境省「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する施行規則案」に関する意見の提出

令和7年9月27日（土）に、環境省環境再生・資源循環局資源循環課から標記案等に対する意見募集（パブリックコメント）が行われたことを受け、協会として、以下のとおり意見を提出しました。なお、標記案等は、こうしたプロセスを経て、一部先行して施行されていた「再資源化事業等高度化法」と併せ、令和7年11月21日に全面施行されています。

### 意 見

令和7年10月23日

公益社団法人大阪府産業資源循環協会

#### 要 約

再資源化の実施の状況の報告について、本施行規則案第68条第2号で定める事項の明確化を希望します。

#### 内 容

「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」（令和6年法律第41号。以下「法」という。）第38条第1項により特定産業廃棄物処分業者が環境大臣に報告しなければならない事項並びに同条第2項により特定産業廃棄物処分業者を除く産業廃棄物処分業者が環境大臣に報告することができる事項として、産業廃棄物の種類及び処分の方法ごとに、その処分を行った産業廃棄物の数量及びその再資源化を実施した産業廃棄物の数量のほか、環境省令（施行規則）で定めるものと規定されているところ、本施行規則案第68条第1号の規定では「氏名及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名」と明示があるものの、同条第2号の規定では「その他再資源化の実施の状況に関する事項」とあるのみであったことから、具体的に求められる報告内容について伺うものです。

#### 理 由

法の全部施行後において、再資源化の実施の状況の報告に当たり産業廃棄物処分業者が混乱等することなく着実かつ適切に行える状況を、あらかじめ確保しておきたい趣旨とご理解ください。

#### 出 典

「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」（令和6年法律第41号）第38条  
「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律施行規則案」第68条

## 廃棄物処理先進事例調査

令和7年2月5日（水）14：00より、本会再生処分部会の先進事例調査として、福岡県北九州市にある株式会社リサイクルテックおよび北九州市エコタウンセンターを訪問しました。リサイクルテックでは、サーキュラーエコノミーの実現を目指す最前線の取り組みとして、太陽光パネルのリサイクル事業について詳細な説明を受けました。特に、日本初となる熱分解処理方式を導入した高度リサイクル工場では、驚異的な資源回収率99%を達成しており、再資源化技術の最先端を目の当たりにしました。さらに、北九州市エコタウン事業の中核を担う北九州市エコタウンセンターを訪問。ここでは、持続可能な社会構築に向けた環境施策や、地域と一体となった先進的な資源循環の取り組みについて説明を受けました。廃棄物を資源へと生まれ変わらせる革新的な技術と、都市全体が連携して推進する環境政策の力強さを実感する調査となりました。



### 第43回

## 株式会社リサイクルテック 太陽光パネルリサイクル(PVR)工場

### ■ 概要 ～太陽光パネルの先進的な高度リサイクルプラント(資源回収率99%)～

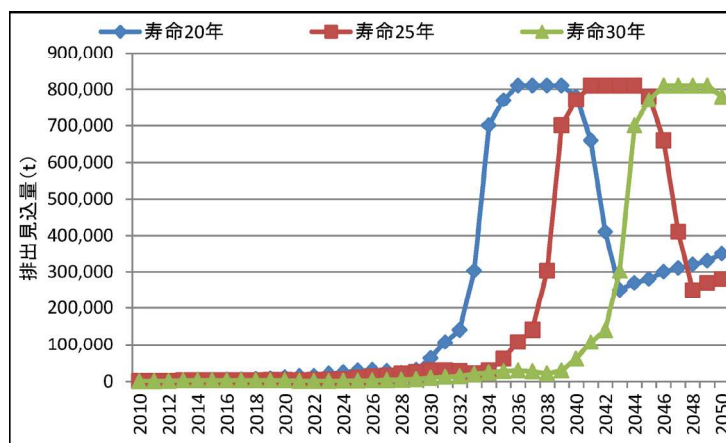
商号：株式会社リサイクルテック  
 代表者：橋口 正  
 本社：福岡県北九州市八幡西区黒崎三丁目9番22号 RISO黒崎駅前ビル5F  
 工場：福岡県北九州市若松区向洋町10-31  
 設立：平成10年12月  
 資本金：3千万円  
 株主：株式会社新菱 81% 株式会社リコー 19%  
 従業員：25名  
 事業：太陽光パネルリサイクル事業、OA機器リサイクル事業

## ■ 太陽光パネルリサイクルの現状

日本は2000年代後半から再生可能エネルギーの導入を本格化させ、2012年に固定価格買取制度（FIT）を創設し、これを契機に、太陽光発電施設の設置が爆発的に拡大した。だが、その裏で大きな課題が迫っているのが、寿命を迎えた大量の太陽光パネルの廃棄である。製品寿命20～30年とされるパネルは、今後、爆発的な廃棄時期を迎える。この施設は、独自開発の熱分解処理炉と高度選別リサイクルラインを駆使し、廃棄パネルの資源回収率99%を実現し、年間処理能力は9万枚（1,500トン）となっている。さらに、北九州市エコタウン総合環境コンビナートという戦略的拠点に位置し、九州・中国エリアを中心に広域からの受け入れを展開する太陽光発電の未来を支える、最前線のリサイクル拠点である。

### ①太陽光パネルの大量廃棄時代の本格化

現在、故障、出力低下や自然災害による太陽光パネルの破損による廃棄量は比較的少ない。しかし、2030年代半ばから、設備更新や撤去により年間50万トンの大量廃棄が見込まれている。



出典：太陽光発電設備等のリユース・リサイクル・適正処分に関する報告書、平成27年6月（環境省）

### ②リサイクルへの課題

太陽光パネルは、アルミ、ガラス、シリコンセル（銀配線）、銅配線、プラスチックの各素材で構成されEVA樹脂で強固な接着がされていることから、そのままでは素材毎の回収が困難であることがリサイクルの課題となっている。同社は、これらの課題を解決するために2010年から技術開発を進めてきた。

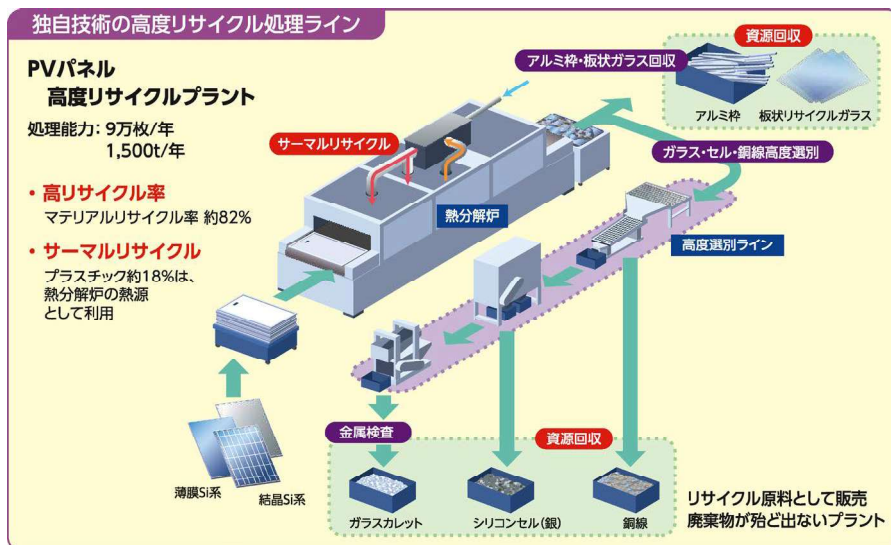


設備投入前の太陽光パネル

## ■ サークュラーエコノミーを実現する高度リサイクルの技術開発

大量廃棄時代が本格化するなか、サーキュラーエコノミーの未来を切り拓く先進的なプラントである。2023年より商用運転が開始されたこの施設は、従来のリサイクルを超え、二次廃棄物をほぼゼロに抑える驚異的な高リサイクル率を実現している。中核となるのは、連続式EVA熱分解処理炉であり樹脂（封止材）を熱分解・ガス化、アフターバーナーで完全燃焼させ、その熱を炉のエネルギーとして回収している。

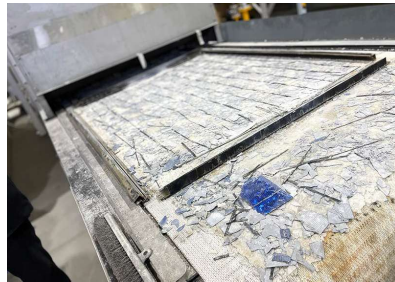
さらに、早稲田大学との共同研究による高度選別ラインで、アルミ、シリコンセル（銀）、銅、そして純度99.999%のガラスカレットを回収し、ガラスの水平リサイクルや金属資源の完全循環を現実のものとしている。また、アルミ解砕を不要とし、カバーガラスが破損したパネルにも対応可能であり、従来なら処理が困難とされたものまで、資源として最大限に活用できる。



EVA 熱分解炉と高度選別ライン(将来的に年間処理能力3,000トンに増強予定)



連続式EVA熱分解処理炉



熱分解炉出



乾式篩大物選別物



エアータブル選別機説明風景



純度99.999%のガラスカレット

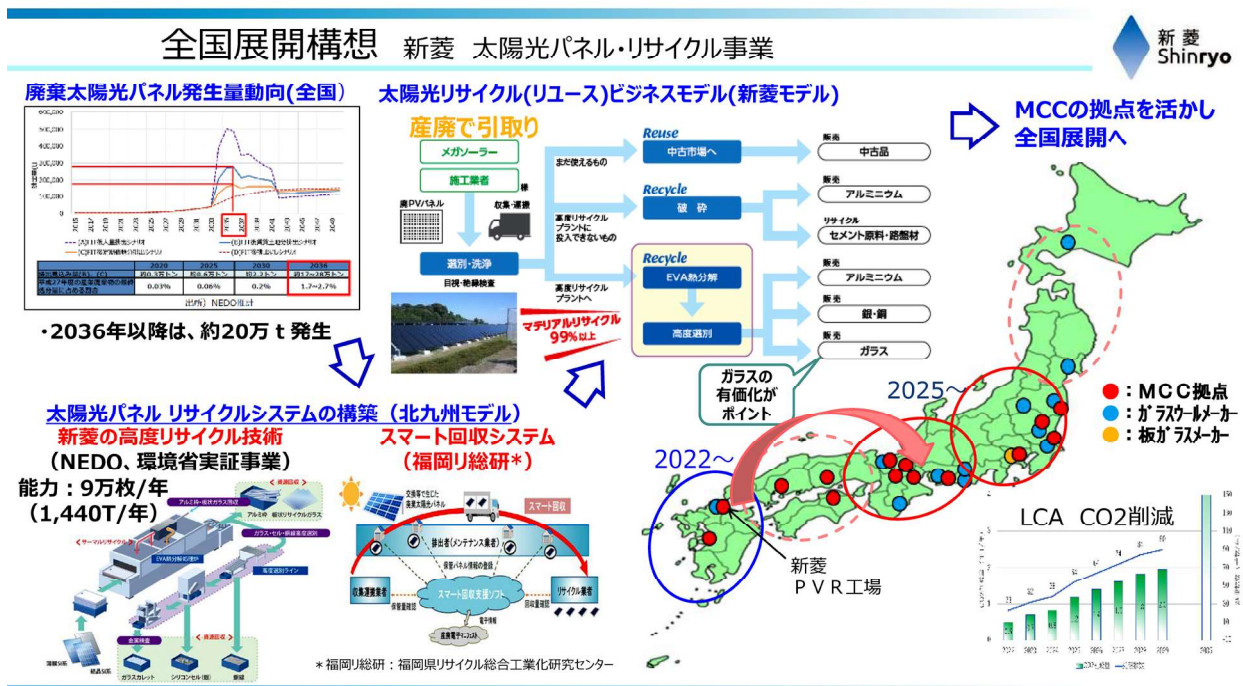
## ■ 資源循環の拡大

高度選別回収物の金属類は、銀や銅の原料として精錬メーカーに販売し資源循環している。また、AGC株式会社とともに、高度選別技術による純度99.999%のガラスカレットを建築用型板ガラスの原料にリサイクルする実証実験に成功している。通常、ガラスカレットの相場は非常に安価であるが、型板ガラス、断熱材、ガラス容器の原料として新たな価値を創出している。



## ■ 太陽光パネルリサイクル事業の今後の展開

親会社である三菱ケミカル株式会社の全国にある拠点等を活用し、地産地消のリサイクルモデルとして全国12拠点、年間1万トンのガラス原料の供給体制を計画している。また、AGC株式会社、九電グループ5社と連携し太陽光パネルのリユース・リサイクルの推進及び事業化に取り組んでいる。さらに、海外への技術ライセンスの販売も検討されている。



## ■ 北九州市エコタウンセンター

北九州市エコタウン事業は、日本が誇る環境革新の最前線である。広大な響灘地区、2,000ヘクタール（みずほPayPayドーム286個分）もの埋立地を舞台に、25社・227事業が一丸となってリサイクルの未来を切り拓いている。その象徴とも言えるのが、1997年に始動したエコタウンプロジェクトである。ペットボトルリサイクル工場や家電リサイクル工場など、最先端のリサイクル施設が次々と整備され、都市全体が「循環型社会」のモデルとして進化を続けている。さらに、国内にとどまらず、アジア諸国へ環境技術を輸出し、持続可能な未来をグローバルに支えている。加えて、洋上風力発電をはじめとする再生可能エネルギー事業にも注力し、クリーンエネルギーの確立に向けた挑戦を続けている。



北九州市エコタウンセンター松井様によるエコタウンエリアの説明／左 プレゼンテーションビデオ視聴／右

## ■ ま と め



この度の訪問を通じて、株式会社リサイクルテックが推進する「高度リサイクル資源循環」の真髄を実感しました。同社は、従来の「廃棄コスト負担」型の発想を打ち破り、「資源循環による価値創出」へとビジネスモデルを大胆に転換されていました。その挑戦は、まさに持続可能な未来を切り拓く原動力となっています。特に、99.999%の純度を誇るガラスカレットの存在は圧巻でした。この高品質なリサイクル素材を大量に活用できるメーカーのさらなる技術革新が求められると強く感じました。同時に、私たち消費者も再生品に対して「環境負荷の軽減」とい

う義務感ではなく、「新たな価値と魅力を持つ選択肢」として受け入れ、その需要を後押ししていくことが不可欠です。また、国が推進する太陽光パネルのリサイクル義務化に向けた制度構築において、同社はサーキュラーエコノミーを牽引するトップランナーとして、今後ますます重要な役割を担っていくことでしょう。リサイクルの枠を超え、資源循環による新たな未来を切り拓くその姿勢に、心から敬意を表します。

最後に、訪問にあたり、大変お忙しい中、長時間にわたり誠実にご対応、ご説明くださった株式会社新菱PVR営業グループ佐藤佑樹様、北九州市エコタウンセンター松井様に心からお礼申し上げます。

(文責・久永 勇)

## 廃棄物処理先進事例調査

令和7年7月4日（金）13：30に本会収集運搬部会の先進事例調査として高知県高知市にある兼松エンジニアリング株式会社テクノベースを訪問し、2021年8月に完成したばかりの清新な工場について、設立した経緯や目的を伺い、また日本初となる同社製造のEV吸引作業車「ETM-03BVP」その他の最新車両等を見学し、一部実地でのデモンストレーションも交えながら詳細な説明を受けてきました。



### 第44回 兼松エンジニアリング株式会社 テクノベース

#### 全体概要 ～社会のニーズに応じ、技術の錬磨と研究開発に努力する企業～

商号：兼松エンジニアリング株式会社

設立：1971年9月

代表者：代表取締役社長 山本 琴一  
代表取締役専務 北村 和則

本社：高知県高知市布師田3981番地7

資本金：313,700,000円

従業員：256名（2024年3月現在）

主力製品：①強力吸引作業車（パワープロベスター・スーパーモービル・モービルバック・ネオモービル）  
②汚泥吸引作業車（トランスモービル）  
③定置型吸引機（バキュームコンベヤ）  
④高圧洗浄車（モービルジェット）  
⑤ビルメンテナンス用清掃車（急太郎）  
⑥移動式汚泥脱水車（モービルバスケット）  
⑦定置式脱水機（グランドバスケット）  
⑧粉粒体吸引・圧送車（パウダークリーン）

主納入先：産業廃棄物処理業者  
鉄鋼・電力・造船会社  
海外ユーザー  
国土交通省・NEXCO・縣市町村



北村専務による概要説明



説明を受ける収集運搬部会のメンバー

## 沿革

2013年7月の株式市場統合に伴う東京証券取引所市場第二部への指定替え以降(それより前は第10回廃棄物処理先進事例調査※により報告済み)

※「空冷式ブロワ搭載強力吸引作業車」を対象として当時の明見工場に訪問している。

<https://o-sanpai.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2024/03/058.pdf>

2016年 3月	高知県南国市の「滝本ヤード」に完全車両保管倉庫を新設し「滝本ベース」に改称
2017年11月	高知県南国市のテクノ高知工業団地内にeセンターを開設
2021年 8月	高知県南国市の明見工場を高知市の高知中央産業団地内テクノベースに移転
2021年 9月	創立50周年
2022年 4月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第二部からスタンダード市場に移行
2023年 2月	マイクロ波減圧乾燥装置が「第27回四国産業技術大賞」を受賞

## その他

①2014年5月1日付で、一般社団法人日本自動車車体工業会（以下「工業会」という。）の「環境負荷物質自主取り組み基準」に基づいた、環境負荷4物質（鉛・水銀・六価クロム・カドミウム）を自社製品に一切使用しないとする「環境負荷物質フリー宣言」を行っている。

②工業会の「商用車架装物のリサイクルに関する自主取り組み」を基本として吸引車・高圧洗浄車の架装物等「自動車リサイクル法」の対象外であるものについても、以下の参考資料を情報提供している。

A 商用車架装物に関する3R「判断基準」ガイドライン

<https://www.kanematsu-eng.jp/kaitai/rc-guide.pdf>

B 使用済み商用車架装物 解体マニュアル

-1 共通偏

<https://www.kanematsu-eng.jp/kaitai/rc-kyotsu.pdf>

-2 清掃車（吸引車）

<https://www.kanematsu-eng.jp/kaitai/rc-kyuin.pdf>

-3 清掃車（高圧洗浄車）

<https://www.kanematsu-eng.jp/kaitai/rc-senjoyo.pdf>

## ■ テクノベース ～新たな歩みを、ここから～

「何かあった時にこそ本当に役に立つために」

いつ何時に起こるかもしれない災害に対する危機管理と、これからさらに高まる多様なニーズに効果・効率的に対応していくため、高知市一宮の高知中央産業団地に設立し、それまでの生産拠点であった本社工場（高知市布師田3981番地7）と明見工場（南国市明見913番地11）の2拠点を高台の1拠点に集約し、新工場として「①テクノベース生産技術センター」と「②テクノベース検查出荷センター」を併設している。各工程や運搬の効率化も実現している。



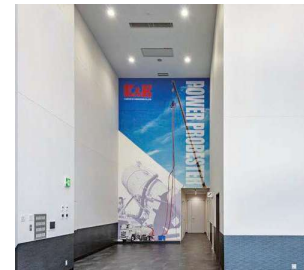
テクノベース内 事前説明



収集運搬部会のメンバーによる質疑

### ①テクノベース生産技術センター（高知市一宮4786番34）

製造部／技術部／調達部／部品部／品質保証部



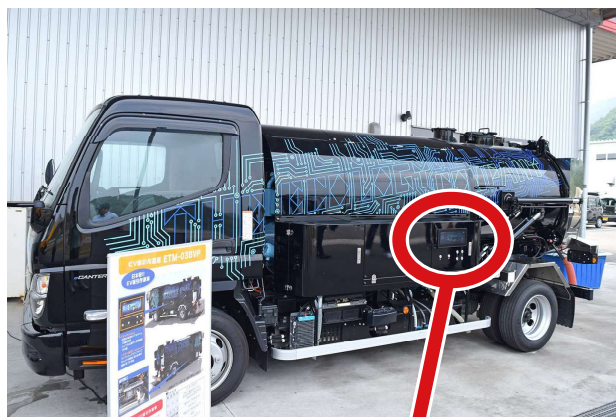
### ②テクノベース検查出荷センター（高知市一宮4786番33）

検査部／塗装部



## ■ EV吸引作業車「ETM-03BVP」 ～日本初のEV吸引作業車～

温室効果ガス排出ゼロの完全EVトラック（新型eキャンター）に架装し、心臓部にはシャシ側 e PTO を動力源とするルーツブロワを搭載している。こうした技術により、従来の吸引力を維持しながらも環境への配慮との両立が図られている。なお、EVとしての持続性に関する課題は残っており、今後も改良を進めていくべき余地があるとのことである。



### タッチパネル

- ・車両の状態をリアルタイムで確認可能
- ・シンプルな操作で各種設定が可能

### ボタン操作

- ・ワンプッシュでダンプアップやハッチの開閉、吸引作業の開始／終了が可能

### 充電口

### 【主要諸元表】

製品型式	ETM-03BVP
シャシ	FUSO：新型eキャンター ZAB-FEB8KE6DS00C（WB：3,400mm）
e P . T . O	161N・m（16.4kgf・m）
最大吸引風量	10m <sup>3</sup> /min 注1)
最大吸引静圧	-96kPa（-720mmHg）注2)
吸引口径	φ80
圧送圧力	0.07MPa（0.7kgf/cm <sup>3</sup> ）
タンク容量	2.25m <sup>3</sup>
最大積載量	1,930kg
全長×全幅×全高	約5,950mm×約2,060mm×約2,350mm
定員	3名

注1) -13kPa（-100mmHg）時の風量（5分定格） 注2) 封入水温15℃時の最高到達圧力（5分定格）

## ■ ま と め



同社の2トン高圧洗浄車「JS-02W1518K(S)」をバックに撮影／於：テクノベース

前回(第10回)の訪問時に伺ったご説明でも感じたことなのですが、兼松エンジニアリング株式会社は「人にやさしく、自然にやさしい、心豊かな、それでいて活力ある技術集団を目指している企業」であると改めて感じました。誤解を恐れずに言えば、エンジニアリング会社といっても、「ハイテク」というよりは「ローテク」をベースとして、実に様々な経験を積み上げてこられている技術者の集団という印象です。

そして、それはユーザーのニーズに裏打ちされているものであるとも感じました。今回のご説明にあったテクノベースへの移転や日本初となるEV吸引作業車の開発・製造等は正に、そうした点を象徴しているようです。

創立50周年の節目を迎えられ、これから、さらに「社会のニーズに応じ、技術の錬磨と研究開発に努力する企業」として発展していかれることを祈念しております。

最後に、訪問にあたり、大変お忙しい中、長時間にわたり誠実にご対応、ご説明くださった、代表取締役社長・山本 琴一様、代表取締役専務・北村 和則様、西日本支社大阪支店長・小玉 英雄様、その他一方ならぬご尽力をいただいたスタッフの皆様に、心からお礼申し上げます。

(文責・龍野浩一)

Member

会員紹介

Information

## 辰巳環境開発株式会社

## C O M P A N Y P R O F I L E



代表取締役  
辰巳秀司

インタビュー

本社 守口市東郷通1-5-17  
大阪営業所 大阪市鶴見区焼野4-5-32  
東大阪食品リサイクルセンター

東大阪市水走3-12-56

事業内容 産業廃棄物中間処理業  
産業廃棄物収集運搬業  
一般廃棄物中間処理業  
一般廃棄物収集運搬業  
一般廃棄物再生輸送

URL <https://tatsumikankyou.com>

## 沿革

- 昭和41年9月 前代表辰巳四郎が辰巳サービス創設  
昭和53年8月 辰巳環境開発(株)設立  
大阪市、守口市、門真市の一般廃棄物収集運搬業許可取得  
昭和56年2月 大阪府産業廃棄物収集運搬業許可取得、以後同許可を各地で取得  
平成19年11月 特殊肥料生産業届出および肥料販売業開始届  
12月 東大阪食品リサイクルセンター開設  
東大阪市一般廃棄物処分業許可取得  
平成20年8月 再生利用事業者登録（肥料化）  
平成26年10月 大阪府産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を含む）許可変更取得  
大阪府産業廃棄物中間処理業許可取得  
平成31年1月 廃棄物再生利用事業者登録（廃発泡スチロール）  
令和元年5月 エコアクション21認定取得  
令和元年10月 大阪府産業廃棄物処分業優良認定取得  
令和2年4月 大阪府産業廃棄物収集運搬業優良認定取得  
令和3年9月 東大阪市産業廃棄物中間処理業許可取得

## 創業50年を超える一廃・産廃の老舗業者

——御社の概要をお聞かせください。

辰巳：当社は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬から、産廃中間処理、食品リサイクルなどを手掛ける処理業者です。一廃収運では、大阪市、守口市、門真市の許可を保有。産廃収運では、大阪府（積替保管を含む）、京都府、奈良県、兵庫県、岡山県に対応しています。中間処理では、守口営業所に各種産廃を受け入れて破碎・選別するリサイクル処理を手掛ける他、発泡スチロールのインゴット化も行っています。また、当社の特徴である食品リサイクルの堆肥化施設を東大阪市に整備しており、トータルで廃棄物・リサイクルのワンストップサービスを提供しています。

創業は1966年、辰巳サービスとして出発し、1978年に辰巳環境開発として一般廃棄物収集運搬業許可を取得して、廃棄物業界に参入。1981年からは産業廃棄物収集運搬許可にも事業範囲を広げ、大阪府を皮切りに順次対応地域を拡大していきました。その後、社会ニーズが循環に向きつつある中で、当社も2007年には食品リサイクル分野に進出し、翌年に一般廃棄物堆肥化の再生利用事業者に登録。さらに2013年に産廃リサイクル施設を整備し、中間処理許可を取得して、回収からリサイクル・処理までの一貫したサービスを提供する体制を整えました。以後、発泡スチロールリサイクル、産廃処分業・収運業の優良認定を経て、2023年に食品リサイクルで産廃中間処理許可も取得。ニーズが多様化する中で、包括的かつ迅速に顧客の要望にお応えできるよう、廃棄物のさらなる循環型処理を進めています。



## “食の循環”を地域で展開する

——都市部での食品リサイクル処理施設は珍しいですね。

辰巳：食品リサイクル事業の立ち上げは、先日他界した父（辰巳四郎氏）の思いが原動力となりました。当時、食品リサイクル法をはじめとした個別リサイクル法が次々と施行される最中で、対応を迫られる顧客の困りごとを解決するとともに、資源循環の時代に対応するべく、リサイクルに特化した事業に移行していくべきだと考えたそうです。そして、その第一号として検討したのが、食品リサイクルでした。

## INTERVIEW

まだ「食品ロス」という言葉も一般的でないころ、日々大量に廃棄される食品を目の当たりにした父は、深い憂慮の念を抱いたといいます。捨てられる食品にもう一度命を吹き込み、循環の仕組みを作りたいと、地域に根差した食品リサイクルの取り組みを始めたのです。当初は、一廃系の食品廃棄物だけを扱っていましたが、先ごろ産廃にも対象を広げたところです。

同事業では、事業系食品廃棄物を中心に回収し、堆肥化の専用施設である東大阪食品リサイクルセンターで分別・発酵・乾燥などの工程を経てリサイクル堆肥を製造、地域の農業生産者等に供給します。この堆肥を利用した農産物が再び食品として市場に還元され、地域内で循環するループを形成。これにより、従来であれば焼却・埋立処分されていた食品廃棄物を再資源化し、資源としての食の循環を実現しています。

—実際の処理は、どのように進むのでしょうか。

辰巳：まず、受け入れた食品廃棄物のうち、そのまま投入可能な食品と袋に入った食品とを選別し、袋入りのものは破袋機に掛けて遠心分離で内容物と袋を分離。次に、食品を破砕機に掛けて細かく砕き、さらに種菌とおがくずを加えて攪拌機で混ぜ込んだ上で、発酵機であるバイオドラムに投入し、ここで3～4日を掛けて一次発酵していきます。



破砕後の食品廃棄物に種菌とおがくずを加えて攪拌



バイオドラム(発酵機)で一次発酵



熟成ヤードで二次発酵



商品「e堆肥」の完成

## INTERVIEW

一次発酵を終えたものは熟成ヤードに広げ、さらに二次発酵を進めます。重機で切り返しなが、3カ月ほどで完熟して堆肥となり、契約農家に肥料として、もしくは肥料メーカーに原料として、それぞれ出荷。堆肥の一部は、種菌の母材として工程に戻し、包装や容器、異物などは自社で廃棄物処理する形です。大まかに言えば、昔ながらの堆肥を、機械を使ってゆっくりと丁寧に作り込んでいくイメージですね。

そのため、当社の堆肥はあまり副資材を入れておらず、受け入れ対象も基本的に「人が食べられるもの」に限っています。また、野菜や果物の皮、魚の骨や骨付きの肉、海産物の殻といった硬質なもの、缶詰のような油分の多いものは苦手ですね。

——周辺環境への対策もしっかりされていますね。

辰巳：食品リサイクルには臭気がつきものですが、東大阪食品リサイクルセンターでは処理の全工程を屋内で行っており、空調で臭気を外部に漏らさず脱臭装置に通すことで対策しています。もともと、悪臭の原因となるような腐敗したものや匂いの強いものは受け入れていませんから、臭気といっても発酵に伴う発酵臭くらいで、見学者の皆さんには“漬物の匂いだ”と言われるですね（笑）。

もうひとつ気を付けているのが、虫の発生対策です。食品リサイクルの現場はどうしてもコバエが湧きやすいのですが、当センターでは堆肥の品質に影響を与えない孵化抑制剤を使用しており、虫が発生することはありません。やはり、都市部で操業する以上、周辺住民の皆さんに影響を与えてはいけませんから、その点はしっかりと対策していますし、皆さんとの信頼関係を築く大元でもあります。

実際に、食品リサイクルを通じて、地域の環境教育や食育にも活動が広がっています。学校向けの講座や地域の環境イベントへの出展はもちろん、子どもたちに当社の堆肥を使って野菜を育ててもらい、それを自分で値段をつけて売ってもらう催しなども展開しています。次の世代に循環の意識をつなぎ、食と環境の未来に貢献していきたいですね。

## 地域に根差した事業活動で信頼構築

——地域への配慮が、そのまま職場環境の改善にもつながっています。

辰巳：職場環境を整えることは、人材を確保・育成するうえでも重要な要素となっています。当社では、求人媒体や採用イベントを活用していますが、実際に多いのは社員による友人・知人の紹介、口コミ採用なんですよ。社員が職場に信頼や誇りを持っているからこそ、自信を持って当社を紹介できますし、良好な職場環境が自然に次の人材を呼び込む好循環を生み出しています。

もちろん、入社後にも継続的な育成体制を整えています。ミーティングを通じた業務の振り返りやスキル共有、課題解決のためのディスカッションを定期的に行っています。部署やチームの枠を超えて意見を交わし合い、互いに成長できる風土を築いています。

これは労働安全衛生も同じで、社員が安心して働ける環境づくりにも力を入れています。現場作業や機械設備の運用、災害時の対応など、日々の安全管理の中で得た気づきを共有、防止する安全ミーティングも月ごとに設けています。こちらも執行レベル・部署間・部署内・チーム内と多層的に実施しており、組織全体で問題意識の共有や連携強化を図っています。「安全なくして発展なし」「人こそが最大の財産」を旨として、地域と連携しながら、次のステージへと進化していきたいですね。

——事業を通じて、単なる廃棄物処理に留まらない地域貢献を果たされているんですね。

辰巳：地域貢献という意味では、一廃許可業者として大阪広域環境施設組合（構成自治体：大阪市、八尾市、松原市、守口市）、門真市、守口市と災害協定を締結していますし、大阪府清掃事業連合会の一員として、他地域での災害廃棄物処理支援活動も行っています。大阪は災害の少ない土地ではありませんが、考え得るものとして水害への備えはしっかりとしていますね。

災害対応や循環、脱炭素、食育、地域活性化など、近年は社会のさまざまな変化が加速する中で課題が複雑化し、廃棄物処理業者に対する社会ニーズも多岐にわたります。その中で、変わらない理念と変わり続ける姿勢の両立を大切に事業を展開していきたいですね。中でも食品リサイクル事業は、行政や企業、農業、地域住民の皆さんとの信頼のもと、環境負荷を減らすだけでなく、地域経済の循環にも貢献する「地域密着型リサイクルループ」として、進化を続けて参ります。

——本日はありがとうございました。



## メールマガジン「Clean Life オンライン」好評配信中！

会員を対象にメールマガジン「Clean Life オンライン」を配信中です。すでに多数の会員の方にご登録いただいておりますが、まだまだ受付中です。配信ご希望の会員の方は本会ウェブサイトプライバシーポリシーをご確認のうえ、同意された場合には下記要領に従い、配信先メールアドレスのご登録（無料）をお願い申し上げます。

公益社団法人大阪府産業資源循環協会のプライバシーポリシーの開示  
<https://o-sanpai.or.jp/privacy>

なお、メールマガジン配信にご登録をされますと、ファックスによる情報提供は停止されます。予めご了承ください。

### 【メールマガジン配信先のご登録要領】

- 次の事項をご記入の上、**office@o-sanpai.or.jp**に送信してください。
  - ①会員の名称
  - ②ご担当者所属・役職・氏名
  - ③電話番号
  - ④配信先メールアドレス（1会員につき1メールアドレスのみの登録となります）
- 送信時の件名は「メールマガジン配信希望（会員の名称）」としてください。

## Clean Life オンラインのバックナンバー

### 令和7年度

- |  |   |
|--|---|
| 7月18日  | 8月19日   |
| Vol.864 ■〈大阪府〉泉大津フェニックス（汐見沖地区）リサイクル関連産業用地公募について        | Vol.872 ■〈厚労省〉令和7年度（第76回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について               |
| 7月22日  | 8月21日   |
| Vol.865 ■令和7年度施設見学会について（ご案内）                           | Vol.873 ■〈再送〉〈大阪府〉「第1回資源循環自治体フォーラム」開催のお知らせ                  |
| 7月24日  | 8月25日   |
| Vol.866 ■〈環境省〉欠格事由の該当の有無に係る照会における公印の押印の取扱いについて         | Vol.874 ■産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法等の一部を改正する告示について                  |
| 7月24日  | 8月25日   |
| Vol.867 ■〈環境省〉刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う通知の一部改正について           | Vol.875 ■Clean Life vol.96発行のお知らせ                           |
| 7月29日  | 9月2日  |
| Vol.868 ■〈3次公募〉〈全産連〉「地産地消型資源循環加速化事業」に係る間接補助事業追加公募のお知らせ | Vol.876 ■〈追加開催掲載あり〉〈JWセンター〉「電子マニフェスト 処分業者向け 項目追加説明会」開催のお知らせ |
| 7月30日  | 9月3日  |
| Vol.869 ■〈大阪府〉「第1回資源循環自治体フォーラム」開催のお知らせ                 | Vol.877 ■盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律（金属盗対策法）について                 |
| 8月8日   | 9月5日  |
| Vol.870 ■〈JWセンター〉「電子マニフェスト 処分業者向け 項目追加説明会」開催のお知らせ      | Vol.878 ■〈環境省〉令和7年度 産業廃棄物処理業者が活用できる政府支援策一覧                  |
| 8月18日  | 9月5日  |
| Vol.871 ■〈全産連〉産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2025年4-6月期】について       | Vol.879 ■〈全産連〉「令和7年度（第76回）全国労働衛生週間」を迎えるにあたって会長メッセージ         |

9月24日

Vol.880 ■ 〈環境省〉「下請代金支払遅延等防止法及び下請中小企業振興法の一部を改正する法律」に関するWeb説明会開催について

10月1日

Vol.881 ■ 〈環境省〉価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組について

10月6日

Vol.882 ■ 〈JWセンター〉「処分業者向け 項目追加説明会」開催日程追加および動画掲載について

10月6日

Vol.883 ■ 〈厚労省〉最低賃金額の改定及び各種賃上げ支援施策に関する周知・広報の実施等について

10月8日

Vol.884 ■ 〈京都府協会主催〉産業廃棄物処理業者向け脱炭素セミナー開催のご案内

10月8日

Vol.885 ■ 〈環境省〉大気汚染防止法施行規則等の一部を改正する省令等の施行について

10月10日

Vol.886 ■ 令和7年度精励従事者表彰候補者の募集について

10月14日

Vol.887 ■ 〈環境省〉物資の流通の効率化に関する法律の来年度施行に係る政省令の公布について

10月23日

Vol.888 ■ 〈全産連 青年部協議会〉「第13回全国大会 近畿大会in大阪」開催のご案内

10月23日

Vol.889 ■ 〈環境省〉エコアクション21ガイドライン追補版～エコアクション21アドバンスト～の公表について

10月27日

Vol.890 ■ 〈産業廃棄物処理事業振興財団〉再資源化事業等高度化法説明会（事業者向け）

10月30日

Vol.891 ■ 〈大阪湾広域臨海環境整備センター〉令和9年度 大阪基地設備更新工事に伴う基地受入停止について

11月4日

Vol.892 ■ 〈中小企業基盤整備機構〉カーボンニュートラルの取組支援について

11月7日

Vol.893 ■ 令和7年度リスクアセスメント推進研修会～最近の労働安全衛生関係トピックスを中心に～開催について

11月12日

Vol.894 ■ 〈大阪府〉「大阪府石綿飛散防止対策セミナー」の開催について

11月17日

Vol.895 ■ 〈全産連〉産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2025年7-9月期】について

11月26日

Vol.896 ■ 〈大阪府〉大阪港湾局（府営港湾）における公募予定地情報について

12月4日

Vol.897 ■ 〈環境省〉資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の全面施行について

12月5日

Vol.898 ■ 〈環境省〉再資源化事業等高度化法関係公開資料

12月15日

Vol.899 ■ 〈JWセンター〉「電子マニフェスト 処分業者向け 項目追加説明会」開催日追加及びよくある質問の掲載について

12月16日

Vol.900 ■ 〈総務省・経済産業省〉令和8年経済センサス活動調査について

12月16日

Vol.901 ■ 〈全産連〉「産業廃棄物処理 委託契約書の手引」改訂版発行のご案内

12月25日

Vol.902 ■ 〈環境省〉廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について

12月25日

Vol.903 ■ 〈大阪湾広域臨海環境整備センター〉大阪湾フェニックス事業における3期神戸沖のこれまでの計画について

12月26日

Vol.904 ■ 〈大阪湾広域臨海環境整備センター〉大阪湾フェニックスの3期事業（神戸沖埋立処分場）に向けた取組の方向性について

## 令和8年度

- 1月5日 \_\_\_\_\_  
Vol.905 ■ OSK-sign（電子契約エントランスシステム）導入説明会開催のご案内
- 1月6日 \_\_\_\_\_  
Vol.906 ■ 2025年度 廃棄物管理士講習会 追加開催のご案内
- 1月6日 \_\_\_\_\_  
Vol.907 ■ 令和7年度安全衛生活動の現状調査のお願い
- 1月7日 \_\_\_\_\_  
Vol.908 ■ <JWセンター>「処分業者向け 項目追加説明会」開催日程追加について
- 1月8日 \_\_\_\_\_  
Vol.909 ■ なにわサンパイ塾「人事労務サミット」開催について（アンケートおよびご参加のご案内）
- 1月9日 \_\_\_\_\_  
Vol.910 ■ <JWセンター> 2026年度「許可・特責講習会」受講料変更等についてのお知らせ
- 1月13日 \_\_\_\_\_  
Vol.911 ■ <環境省>「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改定について
- 1月16日 \_\_\_\_\_  
Vol.912 ■ BCP（事業継続計画）策定啓発セミナー「経営幹部に必要な法律の基礎知識～“知らなかった”は通用しません！～」の開催について
- 1月23日 \_\_\_\_\_  
Vol.913 ■ 外国人特定技能・育成就労制度の閣議決定について
- 1月27日 \_\_\_\_\_  
Vol.914 ■ 改正物流効率化法について
- 2月10日 \_\_\_\_\_  
Vol.915 ■ <環境省>「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の改正等に関する説明会の実施について
- 2月12日 \_\_\_\_\_  
Vol.916 ■ 「令和7年度廃棄物収集作業向上研修会」の開催について
- 2月16日 \_\_\_\_\_  
Vol.917 ■ （中間処理業者限定）【重要】【代表者さま必読】<環境省> Web調査協力をお願い「新たな外国人材の雇い入れに関する産業廃棄物処理業界に向けたアンケート」
- 2月16日 \_\_\_\_\_  
Vol.918 ■ なにわサンパイ塾「人事労務サミット」開催のご案内
- 3月2日 \_\_\_\_\_  
Vol.919 ■ 産業廃棄物収集運搬業における人手不足の実態を把握するためのアンケートについて
- 3月2日 \_\_\_\_\_  
Vol.920 ■ <中災防> 無料セミナー開催のご案内
- 3月5日 \_\_\_\_\_  
Vol.921 ■ <環境省・全産連> 廃棄物処理業者のための労務費の適切な転嫁・価格交渉に関するオンライン勉強会開催のご案内
- 3月5日 \_\_\_\_\_  
Vol.922 ■ <環境省>「令和7年の地方からの提案等に関する対応方針」（令和7年12月23日閣議決定）において令和7年度に講ずることとされた措置（道路運送車両法、戸籍法及び住民基本台帳法に基づく請求が可能であることの通知）について
- 3月6日 \_\_\_\_\_  
Vol.923 ■ <厚労省>「治療と就業の両立支援指針」の周知について
- 3月10日 \_\_\_\_\_  
Vol.924 ■ 2026年度「許可・特責講習会」の開催について

## 新規入会会員紹介

令和7月3月～令和8年2月に入会した会員

正  
会  
員

## 関西製紙原料 株式会社

代 表 者	阪 本 聖 健		
住 所	〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜1-1-15		
電 話 番 号	072-430-0381	F A X 番 号	072-430-0382
業 務 内 容	産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業（減容固化、破碎、破碎・減容固化）、古紙リサイクル		

## 株式会社 ケー・アール・エス

代 表 者	勘 野 圭 子		
住 所	〒598-0001 大阪府泉佐野市上瓦屋359-1		
電 話 番 号	072-469-6011	F A X 番 号	072-469-0808
業 務 内 容	産業廃棄物収集運搬業		

## 平成ハイテック 株式会社

代 表 者	平 尾 吉 隆		
住 所	〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町3-10-33		
電 話 番 号	06-6445-2424	F A X 番 号	06-6445-8911
業 務 内 容	化学工業薬品販売業、産業廃棄物収集運搬業		

## 賛助会員

クレールヴィズ行政書士事務所			
代表者	村岡 奈美		
住所	〒530-0043 大阪府大阪市北区天満3-5-17 苦瓜ビル202号室		
電話番号	06-6467-4846	FAX番号	06-6585-0937
業務内容	行政書士業務		

株式会社 JEMS			
代表者	須永 裕毅		
住所	〒305-0033 茨城県つくば市東新井31-13		
電話番号	029-828-5477 (静脈ソリューション事業部直通)	FAX番号	029-863-7216
業務内容	ソフトウェア開発・販売、ビジネスプロセスアウトソーシングに関する業務、環境関連のコンサルティングおよび管理・運営業務		

ベイニング 株式会社			
代表者	庭月野 賢秀		
住所	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2F		
電話番号	03-6899-1153	FAX番号	03-6899-1153
業務内容	M&Aアドバイザー業務、セカンドオピニオン業務、コンサルティング（資金調達支援、リサーチ業務など）		

退会会員 ————— 令和7年3月～令和8年2月に退会した会員

正会員 新広建設(株)

賛助会員 (株)共和印刷

## 事務局からのお知らせ

### 会員向けご案内

## 第14回定時総会開催について

本会の第14回定時総会を下記のとおり開催する予定です。会員の皆様におかれましては、ご多用とは存じますが、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

#### ※開催曜日と場所が前回までと異なります

■ 日 時 令和8年6月17日（水曜日）15時30分

■ 場 所 ホテルロイヤルクラシック大阪

最寄駅：大阪メトロ・南海電車・近鉄電車「難波駅」

※定時総会終了後、同会場にて懇親会を開催予定です。

#### ■ 内 容（予定）

- ・令和7年度 事業報告及び収支決算案承認
- ・令和7年度 監査報告
- ・令和8年度 事業計画及び収支予算 ほか

#### ■ 会員の皆様へのご案内発送スケジュール

令和8年4月下旬：正式決定した開催日時および場所等のご案内をFAX送信

令和8年8月下旬：出欠票、代理人選任届兼議決権行使書面、議案書を郵送

### 会員向けご案内

## 協会ホームページにバナー広告を載せませんか

産業廃棄物処理業界内外の多くの方々に日々アクセスされている本会ホームページにバナー広告を掲載しませんか。貴社のサービスや商品を効果的にPRする絶好の機会です。以下の要項をご確認の上、ぜひご検討ください。

#### 【バナー広告募集要項】

■ 掲 載 期 間：年単位（複数年での契約が可能です）

■ 掲 載 場 所：トップページ

■ バナーサイズ：縦35ピクセル × 横170ピクセル

■ 料 金：110,000円／年（消費税10%込み）

■ 募 集 枠 数：20枠（先着順）

※掲載は本会会員に限ります

その他の詳細につきましては本会ホームページのトップページ下部にあります「バナー広告について」をご覧ください。本会までお問合せください。

## 会員向けご案内

## 経営事項審査のための会員証明書発行について

本会会員は公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設業者に必要な**経営事項審査の加点（20点）対象**です。審査に必要な会員の証明書の発行（無料）を希望される方は本会までお問合せください。

## 建設廃棄物処理委託契約書は残りわずかです！

建設廃棄物処理委託契約書の販売元である建設資料普及センターの業務終了に伴い、本会では在庫の限り販売いたしますが、残りわずかとなりました。なくなり次第、本会では販売終了となりますので、事務局窓口または本会ホームページからお早めにご注文願います。

価 格 330円（5枚入り・消費税込み）

## OSK-sign（電子契約エントランスシステム）に加入しませんか？

OSK-signは、産業廃棄物処理委託契約を紙ではなく電子データで締結・保管することができるサービスです。

〈OSK-signご利用のメリット〉

- ・紙契約書のように契約書の往來の時間がかからない（メールで送信、ネットワーク上で承認）
- ・ネットワーク上で行うため、ソフトウェアのインストールや保守が不要
- ・収入印紙が不要でコストカット
- ・契約相手先の加入の必要がない
- ・産業廃棄物処理委託契約以外の契約にも対応

**特典として、研修などにお使いいただける「教育動画コンテンツ」もご用意**  
※今後も不定期で追加配信予定

お試しで下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=mbAsip-JTHU>

紙契約書の管理のお悩みや、経費削減をお考えの企業さまは是非、導入をご検討ください。協会では定期的に説明会を開催しております。お問い合わせいただけましたら、別途ご説明対応させていただきます（実績あり）

【OSK-signに関するお問い合わせ】

e-mail : e-contract@o-sanpai.or.jp

BACK

バックナンバーのご案内

NUMBER

## 弊会HPで全号公開中

## 第92号（令和6年3月22日発行）

特集 さんぱいフォーラム2023 終了報告  
 ー災害時における廃棄物対策の整備と資源循環の推進に向けた取組みー

## 第93号（令和6年7月25日発行）

- ①中長期における持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について
- ②デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について
- ③特定家庭用機器再商品化法施行令の一部改正について

## 第94号（令和6年11月25日発行）

- ①デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について
- ②「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン（第三版）」について
- ③低濃度PCB廃棄物の処理に関するガイドラインー焼却処理編ーの改訂について

## 第95号（令和7年3月25日発行）

特集 さんぱいフォーラム2024 終了報告  
 ー循環経済を目指す脱炭素型資源循環と新たな法制ー

## 第96号（令和7年8月25日発行）

特集 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令による電子マニフェストシステムの改修及び公開について

クリーンライフ

普及促進シリーズ  
廃棄物法制等

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.4 第2版 2014年12月1日発行  
 ●産業廃棄物処理業におけるヒヤリ・ハットの事例分析

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.5 第3版 2019年3月1日発行  
 ●廃棄物収集作業

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.10 第2版 2019年11月1日発行  
 ●産業廃棄物処理業に関するBCP策定ガイドライン

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.12 初版 2017年12月1日発行  
 ●廃棄物処理先進事例調査報告書

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.14 初版 2023年11月1日発行  
 ●資源循環の推進を目指しSDGsの視点で考える（さんぱいフォーラム2019-2022実施報告書）

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.15 初版 2024年11月1日発行  
 ●廃棄物処理先進事例調査報告書Ⅱ

公益社団法人  
大阪府産業資源循環協会の

分かりやすくして  
コンパクト

必携の  
一冊

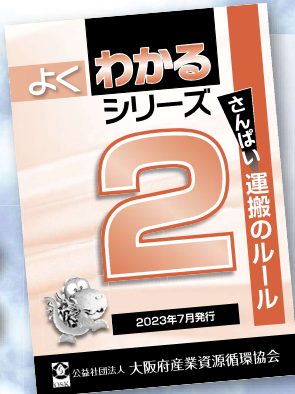
## よくわかるシリーズ1

産業廃棄物の処理の委託をするときに不可欠なマニフェストのしくみを分かりやすく解説！本冊子ではマニフェストの書き方や各伝票の運用方法を記載例、フロー図などを駆使しながら説明しています。巻末にはマニフェストについてよく質問される事柄をQ&A方式で掲載！産業廃棄物の処理を委託する方、される方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ2

産業廃棄物を運搬するときに、守らなければならない処理基準を中心に解説！収集運搬車両の表示板、積替保管する場合の基準、施設（車両）の使用権限から大阪府流入規制など、収集運搬において必要となる事柄をコンパクトに説明しています。巻末には収集運搬についてよく質問される事柄をQ&A方式で掲載！産業廃棄物の収集運搬をされている方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ3

許可の有効期限の延長など、産廃処理業者にとって数々のメリットがある優良産廃処理業者認定制度を分かりやすく解説！優良認定を受けるための5つの基準を説明するだけでなく、過不足なく申請事務を行えるよう、チェックリストも収録しています。巻末には優良産廃処理業者認定制度についてよく質問される事項をQ&A方式で掲載！優良産廃処理業者の認定を目指されている方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ4

これは産業廃棄物か一般廃棄物か？産業廃棄物の中のどの種類になるのか？など、廃棄物の適正処理の基本となる考え方や判断基準を中心に解説！廃棄物の取扱説明書として必携の一冊です。ふだんゴミ出しでお困りの一般の方々も、ぜひお読みください。



## よくわかるシリーズ5

他業種にくらべ圧倒的に労働災害が多い廃棄物処理業では、廃棄物の適正な処理だけでなく、安全な処理も求められます。本書は産業廃棄物の処理における労働災害の未然防止徹底を目的に作成した一冊です。「労災ゼロ」を目指して、ぜひご活用ください。



PR

# いつの間にか 回収量が減っている！



担当営業は  
何をしてるんだ！？ 他社に取られて  
いるんじゃないか？

## 顧客の困り込みに課題はありませんか？

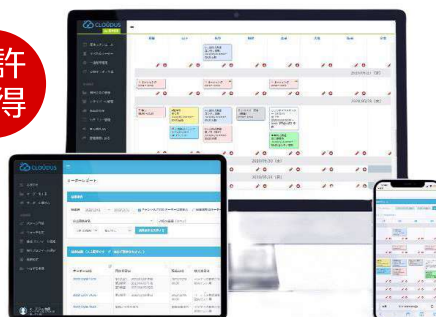
- ✓ いつの間にか回収量が減り、解約になっている！
- ✓ 年に数回、大口の回収依頼があったが、いつの間にか来なくなった
- ✓ 毎月回収はあるけど、契約当初と比べると徐々に減少している…
- ✓ いつ他社に取られるかヒヤヒヤしている
- ✓ 担当営業がちゃんとフォローできているのか怪しい！

クラウドス

産廃業者専用クラウドシステム『**CLOUDUS®**』が解決！

＼ 特許取得・業界初の機能を搭載 ＼

排出事業者からの  
回収量・頻度の減少を  
自動でお知らせ！

特許  
取得

顧客の状況変化を  
早急にキャッチ



解約を未然防止



顧客フォローを  
サポート



## 編集後記

### 【外国人と日本人、共に築く建設業の未来】

こんにちは。建設業を営んでおります、赤崎 晃です。

最近の建設現場は、気づけばすっかり多国籍。  
私の会社でも、日本人社員に加え、現在8名の外国人社員と一緒に、毎日ヘルメット姿で現場を走り回っています。

言葉や文化の違いは正直あります。  
最初は身振り手振り、翻訳アプリ、最後はなぜか笑顔で乗り切る。  
それでも不思議なもので、「重い!」「危ない!」「それ違う!」は、なぜか国境を越えて一発で伝わります。

むしろ最近では、日本人社員より外国人社員のほうが指差し確認が徹底していて、「そこまで確認する?」  
とこちらが学ばされる場面も。  
現場は教える場所でもあり、同時に教わる場所でもあると、日々実感しています。

もちろん、日本人の採用や若手育成にも本気で取り組んでいますが、若手不足や高齢化、体力勝負の現場  
など、業界の課題はなかなか手強いのが現実です。

そんな中、協力雇用主会大阪市都島区 会長として地域全体の雇用確保に携わり、また 大阪府産業資源循環協会  
の組織広報部では、先輩方から日々「それは甘い」と愛あるご指導をいただいております。

AIが進化し、時代は便利になりましたが、現場で一番信頼されるのは——  
最新機械より、声が大きくて、よく気づいて、よく動く人。そこに国籍は関係ありません。

今日もそんな仲間たちと、声を張り上げながら現場を守っています。

皆さま、本日もご安全に!

### 新「メール会員サービス」のご案内

本会のイベントやセミナーを中心に厳選した情報を随時お伝えするメルマガを新たに発行いたします。  
会員・非会員問わず無料でご利用いただけますので、配信ご希望の方は以下の要領でお申込みください。

なお、正会員・賛助会員限定メルマガ「**れん楽網 Clean Life オンライン**」はこの新サービスとは別で引き続きご利用いただけます。

申込先アドレス [news@o-sanpai.or.jp](mailto:news@o-sanpai.or.jp)

件名 メール会員サービスの申し込み

本文 ① 氏名 ② 所属企業・団体名 ③ メールアドレス ④ 電話番号

## Clean Life vol.97

編集 公益社団法人 大阪府産業資源循環協会  
組織広報委員会

委員長	高 好 健 二	委 員	北 本 かおり
副委員長	田 中 公 治	委 員	高 田 実佐大
副委員長	片 渕 則 人	委 員	平 尾 道 哉
委 員	伊地知 宏 徳	委 員	福 田 英 克
委 員	伊 山 雄 太	委 員	福 田 勝
委 員	大 津 佳 之	委 員	山 口 玉 緒
委 員	尾 崎 正 孝	事 務 局	福 原 睦 美

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の許可申請に関する講習会（新規・更新）  
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

2026年度 オンライン講習会試験日・対面講習会開催日 近畿地区日程表

受講料	対面	新規				更新		特別管理産業廃棄物管理責任者
		産業廃棄物収集運搬課程	産業廃棄物処分課程（※1）	特別管理産業廃棄物収集運搬課程	特別管理産業廃棄物処分課程（※2）	収集運搬課程	処分課程（※3）	
	オンライン	¥27,500	¥42,900	¥40,700	¥61,600	¥17,600	¥22,000	¥14,300
	対面	¥33,000	¥53,900	¥51,700	¥75,900	¥22,000	¥27,500	¥15,400
2026年	4月					兵庫会場： 22日(1)(3) 23日(1)		兵庫会場： 22日(2) 23日(2)
	5月	兵庫会場： 19日(1) 20日(2) 21日(1)				大阪会場： 12日(2) 13日(1) 兵庫会場： 19日(2) 20日(1) 21日(2)		大阪会場： 12日(1)(3) 13日(2) 兵庫会場： 19日(3) 20日(3)
	6月	大阪会場： 23日(2) 24日(2)				大阪会場： 23日(1) 24日(3) 25日(1)		大阪会場： 23日(3) 24日(1)
	7月	京都会場： 7日～8日(対面) 滋賀会場： 2日(1) 和歌山会場： 30日(1)	京都会場： 9日(1) 和歌山会場： 29日(1) 兵庫会場： 28日～31日(対面)			京都会場： 9日(2) 滋賀会場： 2日(2) 和歌山会場： 29日(2)	京都会場： 9日(1) 和歌山会場： 29日(1)	滋賀会場： 1日(対面) 和歌山会場： 29日(3)
	8月	大阪会場： 19日(2)				大阪会場： 18日(対面) 19日(1)(3) 20日(1)	兵庫会場： 25日～26日(対面)	
	9月	兵庫会場： 16日(1) 17日(1) 奈良会場： 9日(2) 滋賀会場： 29日(1)	奈良会場： 9日(1) 滋賀会場： 30日(1)	兵庫会場： 17日(2)	兵庫会場： 17日(2)	兵庫会場： 15日(対面) 16日(2) 奈良会場： 9日(3) 10日(1) 滋賀会場： 29日(2) 30日(2)	奈良会場： 9日(1) 滋賀会場： 30日(1)	兵庫会場： 16日(3) 滋賀会場： 29日(3)
	10月	大阪会場： 7日(2) 8日(1)				大阪会場： 7日(1)(3)		大阪会場： 6日(対面)
	11月	京都会場： 12日(2) 大阪会場： 17日～18日(対面)		京都会場： 11日(1)	京都会場： 11日(1)	京都会場： 10日(対面) 11日(2) 12日(1)		京都会場： 11日(3)
	12月	大阪会場： 8日(2) 9日(1)				兵庫会場： 2日(1)(2) 大阪会場： 8日(1) 9日(2) 10日(1)		兵庫会場： 1日(対面) 大阪会場： 8日(3) 9日(3)
2027年	1月	兵庫会場： 14日～15日(対面) 和歌山会場： 28日(1)		大阪会場： 21日(1)	大阪会場： 20日(1)	大阪会場： 19日(対面) 和歌山会場： 27日(対面) 28日(2)		大阪会場： 20日(2)(3)
	2月	大阪会場： 9日～10日(対面) 京都会場： 17日(2) 奈良会場： 26日(1)				京都会場： 17日(1) 17日(3) 18日(1) 奈良会場： 26日(2)		京都会場： 16日(対面) 18日(2) 奈良会場： 26日(3)
	3月	兵庫会場： 3日(3) 大阪会場： 3日(1)	大阪会場： 3日(2)			兵庫会場： 2日(対面) 3日(1) 4日(1) 大阪会場： 3日(3)	大阪会場： 5日(1)	兵庫会場： 3日(2) 4日(2) 大阪会場： 4日(対面)

(※1) 新規産業廃棄物処分に追加して、新規収集運搬を受講することができます。

(※2) 新規特別管理産業廃棄物処分に追加して、新規特別管理産業廃棄物収集運搬を受講することができます。

(※3) 更新処分に追加して、更新収集運搬を受講することができます。

(1)・(2)・(3)：会社やご自宅から、事前にオンラインで「講義」の動画を視聴し、「修了試験」は上記日程表に記載した試験会場に会場に来て受検する2段階形式の講習会です。

(1)：午前 (2)：午後1回目 (3)：午後2回目

(対面)：上記日程表に記載した会場で、「講義」と「修了試験」を受ける対面形式の講習会です。

講習会の申込はインターネット申込みのみです。

詳細は講習会主催者のJWセンターのサイト <https://www.jwnet.or.jp> をご覧ください。

# Clean Life vol.97

クリーンライフ

第97号

令和8年3月30日発行

発行責任者 公益社団法人

大阪府産業資源循環協会

会長 濱田 篤介

組織広報委員長 高好 健二



産業廃棄物の適正処理に関するご質問・ご相談は

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 TEL:06-6943-4016 FAX:06-6942-5314

<http://www.o-sanpai.or.jp/>

職場のみなさまで  
回覧してください